

特集1：現代民主主義における マス・コミュニケーション研究

山腰修三 page 1

ポスト真実と批判的 コミュニケーション研究

烏谷昌幸 page 15

水俣病事件と『苦海浄土』の世界 —シンボルとしての「石牟礼道子」 研究のための覚書—

山口 仁 page 27

世論が構築されない現代政治過程の諸問題 —構築主義的視座からの—考察—

平井智尚 page 37

アルゴリズムを通じた 「権力」への関心とその隘路

新嶋良恵 page 51

サブノート： 節合実践と民主主義構想

佐藤信吾 page 63

ジャーナリズム実践の想起に関する—考察 —リクルート報道を事例として—

杉山文彦 page 75

変容するアメリカの 民主主義とメディア —分断修復へカギを握る通信社の役割—

特集2：クリティカル・オーディエンス —メディア批判の社会心理学

川端美樹 page 91

科学的問題の報道に対する 受け手の批判的態度 —新型コロナウイルス報道・ 地球環境問題報道を例として—

李光鎬 page 103

メディアシニシズムの要因と結果 —敵対的メディア認知および「ポスト真実 主義的態度」との関連—

李津娥 page 117

広告を避ける心理 —インターネット広告の回避を もたらす要因の検討—

正木誠子 page 131

テレビ批判行動意図の規定因に関する検討 —「メディア影響の推定効果」 および「計画的行動理論」の観点から—

一般論文

小川（西秋）葉子 page 147

メディア・ジャンルと知覚のモビリティーズ —ジャーナリズム映画批評の源泉—

活動報告 page 163